

LED照明高齢者職場改善メリット

1. 従来の蛍光灯に比べ、照度が上がり視認性の改善・上昇が期待できる。視認性を改善・上昇することで階段などの転倒を予防できる

視認性向上

転倒などの
事故防止

2. 長寿命（約50000時間）であり、職員の蛍光灯などランプの負担や交換時の事故防止に役立つ。

ランプ交換時の手間
の削減

ランプ交換時の
事故防止

3. LED照明の表面は、ポリカーボネイトなどで組成されており、従来の蛍光灯のガラスに比べて割れないため、地震など災害時に足などを切る心配がない。

割れない⇒地震対策

4. 紫外線・赤外線を出さないなので、蚊・蛾などの虫がこない。蚊が運ぶ伝染病の防止に役立つ。

虫がこない

熱中症対策

5. LED照明は低温度（35度前後）で厨房などで働く職員の熱中症対策に役立つ。
（白熱電球は100～180℃発熱）

LED照明高齢者職場改善メリット

睡眠障害・
認知症改善

http://www.kaigo-news.net/news_aaZyFdD7t2.html

さらに、睡眠障害、認知症などの改善につながる研究開発が行われている。

名古屋大学本部で先ごろ行われた記者発表会で、名古屋大学エコトピア科学研究所、北川邦行教授らの研究グループが共同開発した新たな照明システムが、人への実証実験で、高齢者の睡眠や認知症改善に効果があることがわかった。

この新たな照明システムは、研究グループがえた“白色LEDの青色残光が、人のメラトニンを減少させる”という実験結果のデータに基づいて開発されたLEDを使った照明システムで、その試作品は、あらゆる波長を組み合わせた光によって症状別にその効果をえられるようにする「スペクトルセラピー」の照明器として用いられた。

またその効果を、老健施設や認知症病棟に導入して検証したところ、高齢者の睡眠・認知・会話状況に改善の傾向がみられた。

光療法に続く新たな照明システムに期待

これにより、新たな照明システムを使った「スペクトルセラピー」は、睡眠障害やうつ病、生体リズムを整えるために従来、用いられていた「光療法（高照度の光を対象者にあてる療法）」に続く新たな治療法として今後の開発が期待される。

また、今後の開発について研究グループは、臨床データを今より増やし、新たな照明システムの実用化に向けて開発を進めていくという意向を示している。